

原告がいない中、5年間、ずっと岡山駅前で宣伝行動を実施!

岡山県労会議、解雇前の12月22日から宣伝行動開始

岡山県労会議は、毎月岡山駅前 JAL 争議支援宣伝を行っています。初めて宣伝行動を行ったのは、2010年大みそかに JAL が 165 名の解雇を強行する直前の 22 日でした。それ以来、この 5 年間毎月のように、岡山駅前で宣伝行動を続けてきました。先月、11月24日も、4名が参加し岡山駅東口で道行く人に争議への支援を訴えました。岡山在住の原告はいません。原告が参加できない中でも、宣伝行動等を通じて、国民に訴え、そして原告(争議)団を大いに励ましてくれています。



JAL 争議支援を訴える伊原事務局長(11月24日)

年配の男性から、「京セラから人が来て経営がよくなったからいいんじゃないか。解雇はバランスの問題だ」と言って去って行った人がいました。心ない言葉と思いながら話を続けました。

駅前で自転車整理をしているシルバー人材センターのおじさんが「あんたらいつも頑張っているな」と声を掛け、最後には握手してくれました。まだ世の中捨てたものじゃないです。誰かが聞いてくれています。

伊原事務局長から原告団に届いたメッセージ

JAL の皆さんの事はいつも意識して、他の争議支援以上に宣伝してきました。それは、国労の闘いの反省です。当時はまだ若くて何もできませんでしたが、もっと支援運動ができたはず、という思いがいつもありました。そして、国家的不当労働行為を絶対に許さないという労働組合のプライドです。

恥ずかしいですが私は怖くて飛行機には乗れません。高所恐怖症です。想像するだけで足がすくみます。飛行機事故は絶対に起こしてはならないのです。人間のやれる最高の技術で守りきる。決してお金では買えない安全じゃないですか? 会社がやらないのであれば国民がやる。国民には平和と同時に安全に生きる権利があります。その主張はやはり私たちがやらなければいけないと思っています。

戦争法廃止の運動と同じように憲法がその事を求めています。ILO も同じ思いだと思います。私たちは決して運動を止めません。皆さんもお身体を大事にしてご奮闘ください。

JAL不当解雇撤回 空の安全を守れ

JAL 不当解雇撤回共同実行委員会

～岡山県労会議ニュース 2015 年 10 月 15 日号より

JAL 不当解雇撤回の闘いと支援の運動について、再度「何のための支援」なのかを確認しながら 9 月 29 日、街頭宣伝に立ちました。200 枚のチラシを配布できました。参加者は 6 人。運動を継続することで「不当解雇撤回」の炎を消さず、「必ず職場復帰を」と毎月宣伝しています。

「そんなことしてもダメだ」とのヤジが飛んできましたがそうでしょうか？私たちの運動は JAL 本社を追い詰めています。厚労省も「双方の話し合いが必要」との認識を持つようになりました。「裁判に負けたから、ダメ」とは言えなくなっています。

政府には非があります。政府のお抱え航空会社の不祥事から生まれた倒産と再生に関わる問題です。労働者に非があるわけではありません。当時の経営者は必要もないジャンボジェット機を 113 機も購入。無計画に空港を建設して赤字路線を拡大しました。経営陣の乱脈経営はホテルのリゾート事業、ドルや燃料油の先物取引などで 5400 億円も損失を出しました。経営者は責任も取らずに、すべてを労働者に押し付けました。

労働組合がストライキを掛けて雇用を守るための話し合いを求めましたが、ストライキをすれば再生機構からの支援が打ち切られるとウソまで言って断念させました。これは不当労働行為です。後に、稲盛元会長が裁判で「解雇の必要性はなかった」と言ったことも忘れません。

岡山県労会議は 2010 年 12 月から支援共闘を立ち上げ運動を続けています。岡山に原告はいませんが、労働者の整理解雇は大問題です。絶対に認める訳には行きません。もう、4 年と 9 ヶ月が経過しました。

不当労働行為の裁判は原告が優位です。これに勝利すれば、負けた裁判も逆転できる可能性があります。

私たちは今年 6 月に岡山空港の JAL 営業所にこの問題で要請しました。しかし、対応した事務員は下請け会社の人で要請は受け取れないとしました。苦情や要請は直接電話で JAL に言ってくれとのことでした。私たちは、単に解雇だけの問題ではなく、空の安全に関わる重要な問題だからこそ要請をしている。下請けの会社といえども無関心ではいられないはずだと話しましたが拒否です。空の公共交通機関の問題は安全抜きには語れませんが、黒字を最優先する会社に私たちの声は届かない仕組みになっていました。

これからこの運動をどうやって広げていくのか？包囲行動や抗議はがきなど、模索は続きますが運動は止まりません。大義は私たちにあります。